

吉川 2021 (R3) 11. 9



支笏湖の歴史を伝える写真展の会場
(メメール)と佐々木靖治さん

支笏湖の歴史知つて

明治～昭和期伝える写真展

千歳市支笏湖温泉の丸駒ターセンターの2会場で、温泉旅館直営の飲食店「メメール」2階と支笏湖ビジターセンターでは、「昔の支笏湖写真展」が開かれている。1907(明治30)年に支笏湖オールティアズ写真展「ナンカンコツ再発見」で使った作品を借り受けた。

（昭40）年から78（昭和53）年までに撮影された計33枚が並ぶ。ビジターセンターは30日まで、メメールは年内いつばいは展示予定。地域の歴史を知つてもらおう」と同旅館のスタッフで、メメール担当の佐々木靖治さん（33）が企画。父・義朗さん（58）ら地元有志でつくる「恵岳会（けいさんかい）」が27年前に開催した「支笏湖オールティアズ写真展」ナンカンコツ再発見で使った作品を借り受けた。

ビスマス滌解禁や札幌冬季五輪など昭和期を中心とした写真2枚を展示。メメール会場には、明治期に木橋だつた湖畔橋（後の山線鐵橋）などを収めた計26枚が並ぶ。

メメール会場には王子

軽便鐵道ミユージアム山線湖畔驛（えき）長で、支笏湖駅に勤める木下宏さん（67）が手掛けたビスマス定置網のジオラマも設置。佐々木さんは「時代や暮らししが変わつても自然の姿は変わらない。支笏湖を愛する人たちに一員、親しみを感じてもらえば」と話す。

ビジターセンターは午前9時～午後5時半。メメールは午前10時～午後4時。